

令和4年度 エコギフト申請の手引き

(エコギフトによる頑張る保育所・幼稚園・認定こども園支援事業)

目 次

- 1 エコギフトの申請について
- 2 申請書類の様式
- 3 「エコギフト」活用例
- 4 エコギフト贈呈園の取組例

申請締切 令和4年9月9日（金）

この事業は、自主的・積極的に環境保全活動に取り組むエコ保育所・幼稚園・認定こども園を応援します。

石川県

(公社)いしかわ環境パートナーシップ県民会議

エコギフトの申請について

◎趣旨

この事業は、エコ保育所・幼稚園・認定こども園認定施設における省エネ・省資源などの取組や、模範的な環境保全活動を評価し、評価に応じて「エコギフト（環境教育教材等）」を贈呈するものです。

◎申請対象団体

エコ保育所・幼稚園・認定こども園認定施設

◎申請条件

- ・平成20年度から令和3年度までに認定を受けていること
- ・過去にエコギフトの贈呈を受けている場合は、贈呈を受けた日から3年を経過していること。

◎申請書類

- ・申請書
- ・活動状況がわかる写真・資料

◎申請書類の入手方法

県温暖化・里山対策室のホームページに申請書の電子データを掲載しますので、ダウンロードしてご使用ください。

ダウンロードができない場合は、メールの件名（題名）を「エコギフト事業申請書類希望」として「ecolife@pref.ishikawa.lg.jp」宛にメールを送付してください。

◎申請書類の提出方法

申請書類を電子データにて「ecolife@pref.ishikawa.lg.jp」宛に送付してください。その際、メールの件名（題名）を「エコギフト事業申請書」としてください。

◎申請期限

令和4年9月9日（金）

◎審査・評価方法

提出された応募書類をもとに、①書類審査、②現地調査（9月末～10月頃を予定）もしくは電話等による聞き取り調査、③外部有識者等から構成される審査会により審査を行います。

◎エコギフト贈呈先の発表

贈呈先の発表は、当該団体への通知をもって替えさせていただきます。また、12月下旬に石川県庁舎にて贈呈式を予定しております。詳細は、贈呈先発表の通知の際にお知らせします。

◎展示物の作成について

県では、県内の団体による優れた環境保全活動等を紹介する「地球温暖化防止活動展」を12月頃に行う予定となっており、エコギフト贈呈団体には活動内容を紹介する為の展示物（掲示板に掲示いたしますので、模造紙を1枚程度ご用意ください）の作成をお願いしております。詳細は、贈呈先発表の通知の際にお知らせします。

◎エコギフトの贈呈について

希望する商品について、審査会により賞位を決定し、賞位相当額分のエコギフトを贈呈することになるため、ギフトの内容については、賞位決定後に希望商品の確認等を行います。

◎申請書類提出データの活用

受賞者の取組内容は、県温暖化・里山対策室のホームページ等により公表させていただきます。

◎本件に関する問い合わせ先

〒920-8580 金沢市鞍月1丁目1番地
石川県生活環境部温暖化・里山対策室（担当：坂下）
TEL: (076) 225-1462 FAX: (076) 225-147
mail: ecolife@pref.ishikawa.lg.jp

「エコ保育所・幼稚園・認定こども園」取組例

○エコウィークの設定

毎月一週間、家庭でいらなくなった衣類・古布(タオル類)などを回収し、衣類は、再利用できる物とできない物に分別。再利用できない物は小さく切って、食事の際、食べこぼした物を取るのに利用。

○エコ紙芝居作り

紙芝居作りに取り組み、みんなで紙芝居を見ることで、子どもも大人もエコ活動に対して共通理解することができる。

○落ち葉を集めて腐葉土作り

腐葉土箱へ落ち葉を入れて腐葉土を作る。できた腐葉土は、保育所の庭にある畑(げんきのうえん)に入れ、野菜作りに利用している。

○廃材を使った作品作り

プリン空き容器やトイレットペーパーの芯、ティッシュの空き箱で作品を作る、広告紙を折り紙サイズに切り、折り紙あそびに利用するなど、ものを大切に使う気持ちを育てている。

○グリーンカーテンづくり・ひまわり栽培

朝顔、ふうせんかずら等の苗を植え、朝顔の花は色水あそび、ふうせんかずらの種は保護者や地域の方に配布してグリーンカーテンづくりを呼びかけている。また、ミニひまわりの種を牛乳の空きパックに植え育て、できた種は保護者や近所の方に配布している。

○自然体験

近くの学校林に出かけ、ほんの近くに緑いっぱいの森が広がっていることを知り、色づく葉、緑のままの葉を見るなどたくさんの自然体験をした。森の奥に進むにつれて暗くなること、トカゲの切れたしっぽの不思議さ、冬イチゴを食べてみたことなど五感をフルに使う経験をした。また、笹舟を作り、木の実を採ることで、子どもたちの自然を大切に作る気持ちが培えた。

「エコギフト」 活用例

学校への支援

- 環境学習に使用する「タブレット端末」
- 全校集会で環境保全活動を発表し、啓発するための「プロジェクター」
- 環境情報を伝える「大画面テレビ」
- 環境保全等に関する「図書」
- 環境学習に使用する「ホワイトボード」 など



地域への支援

- グリーンカーテンのための「プランターや肥料」
- 節水のために、「雨水タンク」を設置
- 節電のために、「LED蛍光灯」に交換
- 「ゴミの分別BOX」を設置し、地域イベントに参加する住民に分別を促す など



エコ保育所・幼稚園・認定こども園への支援

- 環境に関する野外学習のための「デジタルカメラ」
- 環境問題や生き物について調べることができる「図鑑、環境絵本セット」 など

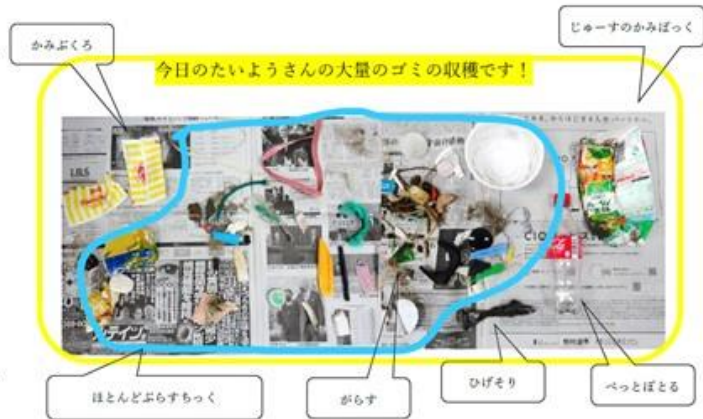


令和3年度 エコギフト贈呈校・地域・エコ園の取組例

エコ園 最優秀賞

大徳学園

- エコ活動の年間計画を作成し、SDGsを取り入れながら、生物多様性学習、食育、環境美化など様々な活動を行っている。
- 海岸清掃の際には、拾ったごみを種類ごとに分けた写真を掲示することで、参加していない園児や家庭に対しても環境保全の呼びかけになっている。



◎エコギフト：「環境学習推進セット」
(デジタルカメラなど環境学習用機器)

学校版 銅賞

小松市立芦城中学校

- 使用済みの使い捨てカイロを回収し、池や川のヘドロを減少させる商品を製造している会社に寄附している。自分には不要な物でも環境保全活動に役に立つことを知るきっかけになっている。
- 生徒がそれぞれSDGsのテーマを選んでパワーポイントを作成し、代表者が文化祭で全校生徒を前に発表。学校全体でSDGsに対する理解を深めている。

◎エコギフト：「環境学習推進セット」
(デジタルカメラなど環境学習用機器)

